

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

冬至より二月経って日は長し

されど芽吹きはまだ遠からじ

●宮古市 太田屋滋

シルバーでカート回収請け負いて

四時間なれど二万歩超えむ

●印西市 山田 明

引越で荷作り箱詰大奮闘

娘の応援感謝感謝

●狛江市 根方一吉

つかぬ間の陽差しに誘われ布団干す

私の呼吸も絶えだへに

●中野市 高木武彦

沈丁花芽吹いているかと思ひ馳せ

今朝も雨戸をそつと開ける

●香芝市 高田尚昭

ぼたん雪梅の小枝に泊り咲き

幼き蕾み寒さ凌ぐや

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

鉤になり余寒の中の渡り鳥

●仙台市 菱沼俊行

眼下冴え銀梓あまた筑波山

●神栖市 安澤宏介

薄氷や水の流れを風が生み

●本庄市 入 利雄

沈丁花あしたの香り夜に次ぐ

●本庄市 長谷川千鶴子

成長の姿まぶしき卒園児

●草加市 長谷部禎子

石橋の覗けば闇の蝸蚪の紐

●戸田市 篠崎志津子

白梅の花びら散らすメジロ二羽

●朝霞市 林 則雄

菜の花がゆらりゆらゆら蝶を待つ

●東京都葛飾区 東海洋一

球春に球追う球児に我を見る

●武蔵村山市 原野晴光

初桜災害耐えて誇らしく

●平塚市 鬼武澄江

吊り橋の眼下に広がる若緑

●長岡市 近藤 博

アルプスは屏風の様な雪の山

●塩尻市 大家協治

晴やかに真紅のツバキ蔵屋敷

●塩尻市 奥原光夫

啓蟄の田の土ゆらしモグラ出づ

●塩尻市 小野正平

如月の空をゆらして小鳥鳴く

●塩尻市 清沢美恵子

そのあたりほのかに温し仏の座

●塩尻市 町田まさ子

二輪草終着駅まで一緒だね

●静岡県清水町 芹澤伸一